

平成29年度事業計画

我が国の森林資源は、成熟しつつある人工林を主体に伐採可能な蓄積が着実に増加する一方、伐採量は生長量を下回っており、林業の成長産業化により地方創生を図るためにも、森林吸収源対策を推進するためにも、木材自給率を引き上げる各種施策の進展と相まって、林業の機械化を促進し、人工林の伐採量を飛躍的に増加させることが重要となっている。

とりわけ、木材が国際商品となっている今日、諸外国に太刀打ちできる生産コストを実現するとともに、労働負荷が少なく安全な作業システムを構築する観点から、作業路網と車両系高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムの定着と併せ、急傾斜地など作業路網の作設が困難な箇所に対応した架線系高性能林業機械の開発が喫緊の課題となっている。

このため、本年度も引き続き、「高性能林業機械化促進基本方針」に示された林業機械の開発・改良、機械作業システムの普及定着等の指針に沿い、林業機械化に関する諸事業を実施する。

以上のとおり、本年度も国、都道府県等の行政、学術研究機関、関係林業団体等のご指導とご協力の下に、会員、役員一丸となって下記の事業に取り組んでいくこととする。

1 森林作業システム高度化技術開発事業

前年度に引き続き会員と連携して林野庁の委託事業を受託し、素材や木質バイオマスの生産を効率化する林業機械の開発・改良等を行う。協会は、調査や検討委員会の設立・運営などソフト部門を分担する。

2 林業労働災害撲滅推進事業

前年度に引き続き全国素材生産業協同組合連合会と共同で林野庁の補助事業を受注し、全国7ブロックで林業事業体の雇用主や労働安全コンサルタントに対して林業機械の最新安全情報を提供し、労働安全に向けてモチベーションの高揚を図る労働災害撲滅キャンペーンに取り組む。

3 森林・林業・環境機械展示実演会開催事業

(1) 「2017森林・林業・環境機械展示実演会」の実施

第41回全国育樹祭の記念行事として、「2017森林・林業・環境機械展示実演会」を香川県及び国土緑化推進機構（森林ファンド）と共催で実施する。

期 日 平成29年11月19日 ～ 20日（2日間）

場 所 香川県坂出市 番の州臨海工業団地

(2) 東京都内における展示実演会の実施

林野庁のイニシアチブの下、東京都内において高性能林業機械等の展示実演会を実施することについて林野庁と検討を進める。

期 日 未定 場 所 未定

4 林業用手持ち機械の型式検査

前年度に実績のなかったチェーンソー・刈払機の型式検査（振動・騒音測定）の継続・中止について検討する。

5 林業機械化研究助成事業

(1) 林業機械化研究助成事業の対象となる研究課題を募集し、選考された課題に対して助成する。

・東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻

代表者 仁多見 俊夫

「WLCの評価システムによるチェーンソー技術教育の効果に関する研究」

・京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻森林経済政策学分野

代表者 教授 栗山 浩一

「作業日報の記載内容および使用方法に関する現状分析」

(2) エルミアウッド2017の現地視察研修（平成29年6月6日～6月12日）を行う。

6 図書出版等

(1) 月刊誌[機械化林業]の発行

最新の研究成果、機械使用事例、現場作業報告、海外情報、最新機械情報等を掲載し、行政機関、研究者・技術者、林業機械メーカー、林業経営者、林業従事者等に役立つ情報誌として発行する。

(2) パンフレット「最新の林業機械」の発行

パンフレット「最新の林業機械」を作成し、広く林業関係者等に配布する。

(3) その他林業機械化推進に必要な書籍の発行

7 林業機械化研究会

林業機械化を取り巻く情勢、林業関係行政情報等を会員に提供するための林業機械化研究会を開催する。

8 みどりとふれあうフェスティバルへの出展

例年企画実行されている東京都千代田区日比谷公園において開催される「みどりとふれあうフェスティバル」に会員の協力を得て参加する。

